

## 9月7日の学習会での質問・回答をふまえた再質問

### (1)「東京外環プロジェクト」についての説明

★質問1.

責任体制はどうなっているのか。国交省（東京外環国道事務所）がトップと考えてよいのか。

回答：「東京外環プロジェクト」は広報活動と考えている。

■再質問1.：実体のない名称は住民を混乱させる。責任を明確にしてほしい。

### (2) シールド工事の安全について

①事故（異常事態）を起さないことが何よりも大切。そのためにすべきことがある。

\* 事故の例に学ぶこと

- ・ 福岡市博多駅前の道路陥没
- ・ 岡山県倉敷市水島での海底事故
- ・ 北陸新幹線での地盤沈下その他

・ 首都高速道路、横浜北線の「馬場出入り口」の地下工事の影響で地盤沈下400m離れたところで、最大13.7cmの沈下が発生したと新聞報道にあった。

これについては調査結果など、詳しい情報を用意してほしい。

★質問2.

回答：自分たちも情報を集めている段階。

■再質問2.：地盤沈下の原因、時期、規模、対応、補償など詳しい報告を求める。  
外環にも、有識者委員会だけではなく、横浜北線地盤変動監視委員会のような第三者委員会が必要ではないか。

②工事の安全のための指針・ガイドラインがあるはずだが、示してほしい。 ★質問3.

■再質問3. 同じ

③武蔵野市は地中拡幅部がないが、横連絡坑と本線との接続部分も難しい工事ではないかと思っ  
ている。横連絡坑の工事について説明してほしい。 ★質問4.

回答：横連絡坑など、避難方式については現在検討中。

■再質問4. & 6.：再検討になった理由と結論を決まり次第知らせしてほしい。

### (3) 緊急時の対応について（異常事態が発生、又は予測される場合）

①オープンハウスでの文書「本線トンネル地上部にお住まいの皆さまへ」に、関係機関と調整中とあ  
ったが、いつごろ発表になるか。 ★質問5.

②なるべく早く、住民への説明会を市役所はじめ関係機関の方もよんで開催してください。要望  
大深度シールド工法で地上への影響は生じないと言って来たのだから、家屋調査と同じく速やか  
に住民に広報する必要があると考える。

1.～5.の項目については説明会で住民の意見を聞いてください。

回答：協議中。

■再質問5. 協議に住民を参加させてほしい。結論が出次第、住民対象に説明会を開催してほしい。

### (4) その他

■質問7. 地中拡幅部の工事の談合疑惑から、契約手続きが取りやめになった旨、9月1日に公告され  
たとのことだが、この事実および今後のことについて、速やかに詳細を住民に知らせてほしい。